

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-213カ・マ・タ	
評価技術名称					連絡先				
構造用合板補強工法 大壁					http://www.				
入隅等「勝ち・負け・単独」裏棧なし					〒				
					電話	Fax			
概要	技術概要 建築基準法で壁倍率が指定されている大壁の構造用合板補強から、間柱をなくし、構造用合板を12mm以上にして、入隅部等を補強する工法。カ:入隅部を対象壁勝ちとする仕様 マ:入隅部を対象壁負けとする仕様 タ:片側を受材仕様で単独壁とする仕様								
	技術の特徴 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易。 ・ ・						コスト サンプル構面		カ:29,955円/kN マ:34,982円/kN タ:34,982円/kN
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 評価番号 評価取得日				実験実施機関 名古屋工業大学				
					その他				
仕様	適用範囲 構法 木造在来軸組工法 規模 3階建て以下 基礎、地盤 特になし 適用部位 内外壁 その他 特になし				写真・図 対象壁勝ち				
	主要構成部材の仕様 構造用合板 厚12mm以上 釘 N50, CN50 @100以下 大壁 間柱、継手受材なし								
	耐震性能 評価仕様: 大壁仕様				対象壁負け				
			壁基準耐力	壁基準剛性					
	「対象壁勝ち」		5.2 kN/m	730kN/rad/m	単独壁				
	「対象壁負け」		4.16 kN/m	584kN/rad/m					
	「単独壁」		4.16 kN/m	584kN/rad/m					
	A-111からの低減係数α 対象壁勝ち α=1.0 : 壁基準耐力 5.2×1.0=5.2 対象壁負け α=0.8 : 壁基準耐力 5.2×0.8=4.16 単独壁 α=0.8 : 壁基準耐力 5.2×0.8=4.16								
	設計方法 ①柱接合部による低減 取付部分が健全であること ②劣化による低減 取付部分が健全であること				大壁 裏棧なし 構造用合板 厚12mm以上 下地材に対して、 釘 N50, CN50@100mm以下 四周打ち				
	施工者指定 特になし				下地材 奥行30×見付40mm 柱に対して、 釘 N75@150mm以下 または N90 @200mm以下				
その他									